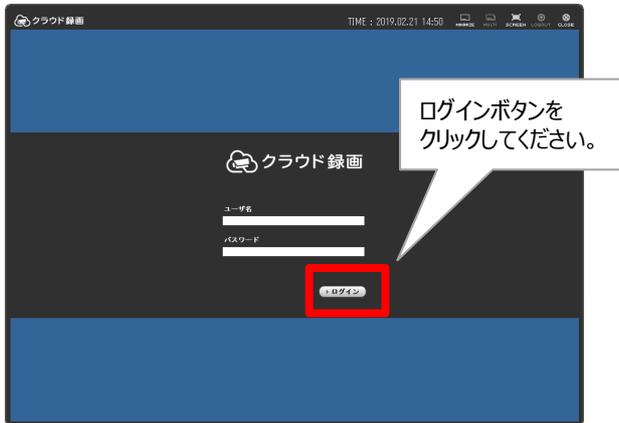




1. 起動

- ① インターネットエクスプローラを起動して、<https://cloudrec.jp/es/>にアクセスし、「クラウド録画」を起動してください。
※お気に入り登録いただくと2回目以降のアクセスが便利です。
- ② ログイン画面が表示されますので、「ユーザ名」「パスワード」を入力し、[▶ログイン]ボタンをクリックします。



※初回アクセス時、及びクラウド録画が起動しない場合



クラウド録画が起動しない場合、以下手順にて、管理者設定権限でインターネットエクスプローラを実行して下さい。

- ① ショートカットアイコン、またはプログラムメニューのインターネットエクスプローラを右クリックします。
- ② 「管理者として実行」を選択し、インターネットエクスプローラを起動します。

2. 終了

終了するときは、画面右上の[CLOSE]ボタンをクリックします。
[OK]ボタンをクリックして、プログラムを終了します。



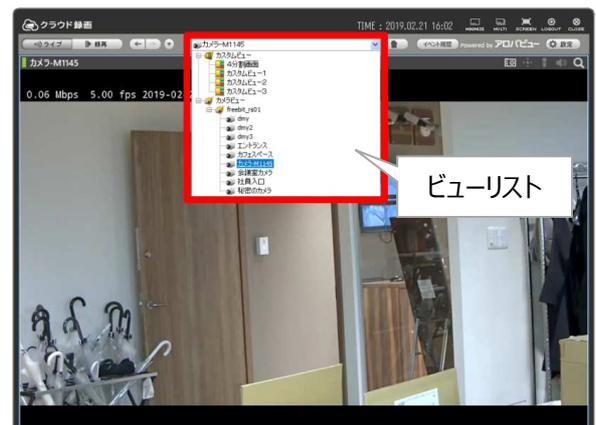
3. ライブモニタリング

ライブモニタリング時には、以下の操作を行なうことができます。

- ① ビューリスト操作
- ② カメラ操作
- ③ その他機能操作

① ビューリスト操作

ビューリストより予め登録されているカメラや分割画面を任意で選択いただき、見たいカメラ画像を閲覧いただくことができます。



ビューリストには、「カスタムビュー」、「カメラビュー」の2種類の閲覧方法があります。
それぞれのビューについては、以下の通りとなります。

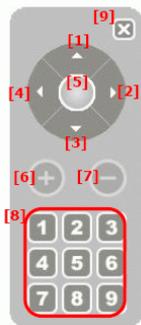
ビューリスト	
カスタムビュー	予め登録している分割画面を表示します。
カメラビュー	登録されているカメラ1台の映像を表示します。

② カメラ操作

旋回型カメラの上下左右移動や光学ズーム、プリセット移動などを行うことができます。



▼カメラ操作リモコンパネル



コントロールボタン	
[1]	カメラを上に向けます。
[2]	カメラを右に向けます。
[3]	カメラを下に向けます。
[4]	カメラを左に向けます。
[5]	カメラをホームポジションに戻します。
ズームボタン (対応機種のみ)	
[6]	ズームインします。
[7]	ズームアウトします。
プリセットボタン (対応機種のみ)	
[8]	カメラに記憶されているプリセット位置を表示します。
[9]	カメラ操作リモコンパネルを閉じます。

③ その他機能操作

アロバビューでは、ライブモニタリング時に使用できる操作が「カメラ操作」の他にもいくつかあります。



① スナップショット

ボタンを押した際に、表示させていたカメラ画像の静止画(JPEG)を取得します。

② カメラ操作パネル

PTZ (パンチルトズーム) 機能付カメラを操作することができます。予めカメラ側で設定したプリセット位置へ移動することもできます。

③ 発声

任意のカメラから音を出すことができます。

④ 集音

任意のカメラから音を聞くことができます。

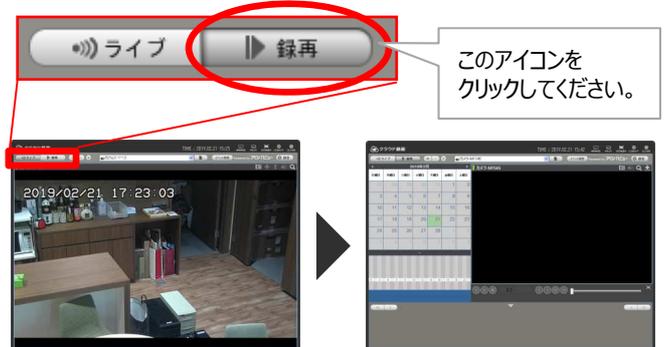
⑤ デジタルズーム

カメラメーカーや機種を問わず、最大10倍までデジタルズームを行うことができます。

※上記③、④の機能を使用する際は、カメラやクライアントPCに、マイク・スピーカ・ヘッドセットなどが別途必要となります。

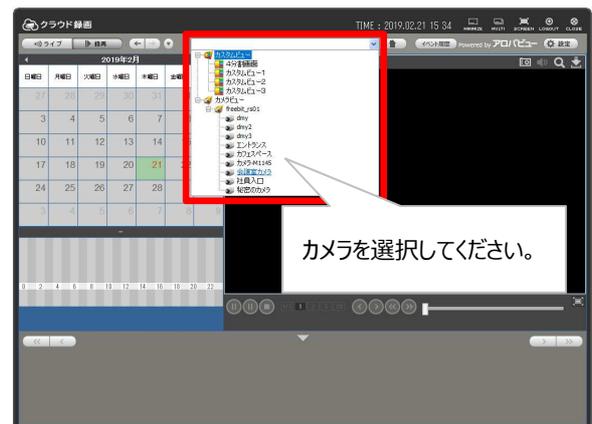
4. 録画データの再生

録画したデータを閲覧する際は、画面左上にある[録再]ボタンをクリックし、録再画面を表示します。



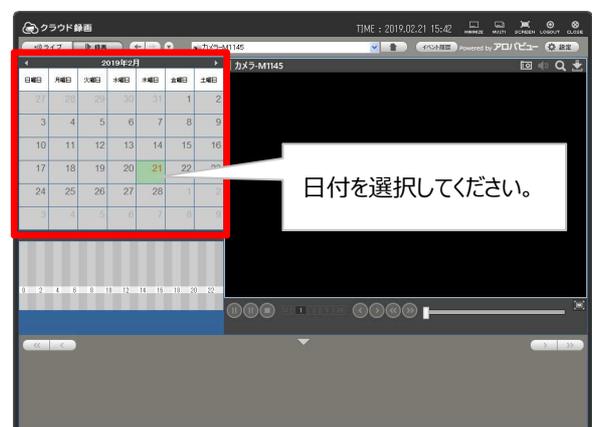
録再画面では、以下①～⑤の手順を順番に行うことで録画データを閲覧することができます。

① ビューリストから録画データを開覧したいカメラを選択します。

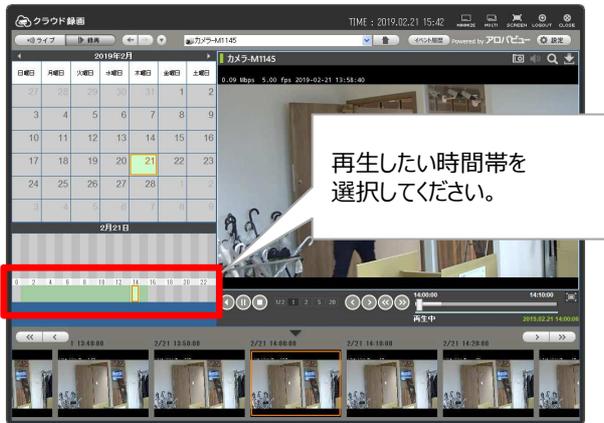


② 閲覧したい日付を選択します。

※録画データが存在する日付が緑色で表示されます。



- ③ 時間帯を選択します。
※録画データが存在する時間が緑色で表示されます。



- ④ 閲覧したいサムネイルをダブルクリックします。
※サムネイルは、[10分ごと]に表示されます。



- ⑤ 下図のように録画データが再生されます。



5. イベント履歴の確認

イベント履歴ウィンドウにて、履歴の一覧確認、イベント時刻から録画データの再生、イベント時間のダウンロードなど行なうことができます。

- ① [イベント履歴]ボタンをクリックし、イベント履歴ウィンドウを表示します。



- ② 確認したいイベント情報をダブルクリックすると、イベント受信時刻から常時録画データの再生を開始します。



※イベント履歴情報は、日時やカメラで絞り込み検索いただくことができます。



6. 録画データのダウンロード

録画データのダウンロードは、以下の4パターンで行なうことができます。ダウンロードしたファイルは、MP4ファイル形式で予め指定した場所に保存します。
※ダウンロードした録画データは、実際には数秒間多く保存されます。

- ① 1時間単位
- ② 10分単位
- ③ 10分単位で最大3時間
- ④ イベント履歴単位

① 1時間単位

② 10分単位

時間軸、もしくはサムネイル上で右クリックし、「録画データ出力」を選択、その後「録画データを取得しますか？」とのメッセージが表示されるため、[▶OK]ボタンをクリックします。

OKボタンをクリックするとダウンロードが開始します。

時間欄を右クリックすると1時間単位で録画データをダウンロードします。

サムネイルを右クリックすると10分単位で録画データをダウンロードします。

③ 10分単位で最大3時間

ダウンロードアイコンをクリックすると、ダウンロード用ウィンドウが表示されます。任意の時間を指定し、[実行]ボタンをクリックします。時間の単位は、5分間となり、最大3時間分まで指定できます。

このアイコンをクリックしてください。

ダウンロード用ウィンドウが表示されます。

④ イベント履歴単位

イベント履歴ウィンドウにて、イベントを選択した後、[ダウンロード]ボタンをクリックします。その後、イベント発生時刻を起点に、Pre時間とPost時間を指定し、[▶OK]ボタンをクリックします。

イベント履歴情報選択後、クリックしてください。

ダウンロード時間を指定し、O K をクリックしてください。

ダウンロードした録画データ

MP4ファイル形式で保存され、ファイル名は下記となります。
[カメラ名_録画データ開始時間_終了時間.mp4]

※ダウンロードする録画データ保存場所は、予め指定します。[設定]ボタンをクリックし、表示される[環境設定]を選択します。環境設定画面にて、[保存]タブを選択し、[参照]ボタンをクリックして、ダウンロードデータ保存場所を指定してください。

このアイコンをクリックし、環境設定を選択してください。

保存先を指定してください。

外部メディアへの書き込み

空のDVDメディアを挿入し、ディスクの利用方法を選択します。フォーマットが完了し、ディスクへの書き込みが可能となれば、ファイルをドラッグアンドドロップで追加してください。

MP4ファイルをドラッグアンドドロップしてください。